

## A. 2012年度事業報告

2012年度総会において承認された事業計画および収支予算に基づいて、下記の活動をおこなった。

### 1. 学術活動

#### 1. 1 学会誌および学術図書の発行

- (1) 生物工学会誌(第90巻第4号～第91巻第3号まで12冊 950頁)を刊行した。(付表(1))
- (2) Journal of Bioscience and Bioengineering (Vol. 113No. 4～Vol. 115No. 3まで12冊1,391頁)を刊行した。(付表(2))
- (3) 2012年度第64回大会講演要旨集を刊行した。
- (4) 国際シンポジウム講演要旨集を刊行した。
- (5) 創立90周年記念事業出版
  - ・ひらく、ひらく「バイオの世界」14歳からの生物学入門：(発刊済み 全国のスーパーサイエンスハイスクールおよび県庁所在地の県立図書館などに寄贈)
  - ・バイオよもやま話(仮称)：6月発行予定
  - ・生物化学工学演習問題集：6月発行予定

#### 1. 2 学術的会合

別表(1)のとおり、学術講演会、シンポジウムおよびセミナーなどを開催した。

#### 1. 3 関連学協会等との連携および協力

別表(2)のとおり、講演会、シンポジウムなどの共催、協賛および後援を実施した。

#### 1. 4 研究の奨励および研究業績の表彰

- (1) 第31回生物工学賞  
関口 順一(信州大学)「細菌細胞壁溶解・修飾酵素群の総合的研究」に授与した。
- (2) 第6回生物工学功績賞  
横田 篤(北海道大学)「有用物質生産菌の中核代謝強化に関する基盤研究」に授与した。
- (3) 第6回生物工学功労賞  
広常 正人(大関株)「清酒醸造の進歩発展と学会事業運営に対する貢献」に授与した。
- (4) 第45回生物工学奨励賞(江田賞)  
渡辺 大輔(独立行政法人酒類総合研究所)「清酒酵母の高発酵性に関する遺伝学的研究」に授与した。
- (5) 第48回生物工学奨励賞(斎藤賞)  
大河内美奈(名古屋大学)「ナノ磁性微粒子を用いたテクノロジーの開発と応用」に授与した。
- (6) 第35回生物工学奨励賞(照井賞)  
熊田 陽一(京都工芸繊維大学)「単鎖抗体の高密度配向固定化技術の開発と高感度免疫診断への応用」に授与した。
- (7) 第21回生物工学技術賞  
小路 博志<sup>1</sup>・杉本 利和<sup>2</sup>・舛田 晋<sup>1</sup>・上野 貴生<sup>3</sup>(<sup>1</sup>アサヒビール株、<sup>2</sup>ニッカウヰスキー株、<sup>3</sup>アサヒフードアンドヘルスケア株)「新規液体麴の開発と発酵食品への展開」に授与した。
- (8) 第9回生物工学アジア若手賞  
Jingchun Tang (Nankai University, China)  
"Reaction evaluation and new process design in composting of biological wastes"に授与した。
- (9) 第1回生物工学アジア若手研究奨励賞(The DaSilva Award)  
Li Zhang(Chinese Research Academy of Environmental Sciences, China) "Treatment capability of an up-flow anammox column reactor using polyethylene sponge strips as biomass carrier"に授与した。

#### (10) 第20回生物工学論文賞

以下の7件に授与した。

- 1) "Practical non-targeted gas chromatography/mass spectrometry-based metabolomics platform for metabolic phenotype analysis"  
津川 裕司<sup>1</sup>・馬場 健史<sup>1</sup>・篠原 正和<sup>2\*</sup>・西海信<sup>2</sup>・吉田 優<sup>2</sup>・福崎英一郎<sup>1</sup>(<sup>1</sup>大阪大学、<sup>2</sup>神戸大学、<sup>\*</sup>現ハーバード大学)
- 2) "Sake yeast strains have difficulty in entering a quiescent state after cell growth cessation"  
Henryk Urbanczyk<sup>1\*</sup>・野口千笑<sup>1\*\*</sup>・呉 洪<sup>1\*\*\*</sup>・渡辺 大輔<sup>1</sup>・赤尾 健<sup>1</sup>・高木 博史<sup>2</sup>・下飯 仁<sup>1</sup>(<sup>1</sup>(独)酒類総合研究所、<sup>2</sup>奈良先端科学技術大学院大学、<sup>\*</sup>現、宮崎大学、<sup>\*\*</sup>現、広島大学、<sup>\*\*\*</sup>現、新奥科技(中国))
- 3) "Synergistic effects of detergents and organic solvents on protein refolding: Control of aggregation and folding rates"  
山本 悦司<sup>\*</sup>・山口 哲志<sup>\*</sup>・長棟 輝行(東京大学、<sup>\*</sup>現、(株)TTC)
- 4) "Isolation and characterization of novel lipases from a metagenomic library of the microbial community in the pitcher fluid of the carnivorous plant *Nepenthes hybrida*"  
諸星 知広・及川 学<sup>\*</sup>・佐藤 祥子<sup>\*\*</sup>・菊地 典子<sup>\*\*\*</sup>・加藤 紀弘・池田 幸(宇都宮大学、<sup>\*</sup>現、岩手スリーエム株、<sup>\*\*</sup>現、株)サンプラネット、<sup>\*\*\*</sup>現、ダイソー株)
- 5) "Directed evolution of an aminoalcohol dehydrogenase for efficient production of double chiral aminoalcohols"  
浦野 信行<sup>1\*</sup>・福井 聡子<sup>1</sup>・熊代 祥子<sup>1</sup>・石毛 たける<sup>1</sup>・北 伸二<sup>2</sup>・坂本 恵司<sup>2</sup>・片岡 道彦<sup>1\*</sup>・清水 昌<sup>1\*\*</sup>(<sup>1</sup>京都大学、<sup>2</sup>第一フアインケミカル株、<sup>\*</sup>現、大阪府立大学、<sup>\*\*</sup>現、京都学園大学)
- 6) "Rice sodium-insensitive potassium transporter, OsHAK5, confers increased salt tolerance in tobacco BY2 cells"  
堀江 智明<sup>1\*</sup>・菅原 満男<sup>2</sup>・岡田 知之<sup>2</sup>・平浩一郎<sup>3\*\*</sup>・Pulla K. Nakayama<sup>2</sup>・且原 真木<sup>1</sup>・新名 惇彦<sup>2</sup>・仲山 英樹<sup>4\*\*\*</sup>(<sup>1</sup>岡山大学、<sup>2</sup>奈良先端科学技術大学院大学、<sup>3</sup>奈良県農業総合センター、<sup>4</sup>神戸大学、<sup>\*</sup>現、信州大学、<sup>\*\*</sup>現、奈良県農林部、<sup>\*\*\*</sup>現、長崎大学)
- 7) "Electrospun conducting polymer nanofibers and electrical stimulation of nerve stem cells"  
Molamma P. Prabhakaran<sup>1</sup>,  
Laleh Ghasemi-Mobarakeh<sup>2</sup>, Guorui Jin<sup>1</sup>,  
Seeram Ramakrishna<sup>1</sup>(<sup>1</sup>National University of Singapore, Singapore, <sup>2</sup>Islamic Azad University, Iran)

#### (11) 第1回生物工学学生優秀賞(飛翔賞)

以下の5件に授与した。

- 1) 佐藤 康史(北海道大学)「骨髄間葉系幹細胞を用いた移植用高品質軟骨様組織作製法の開発」
- 2) セーボレー那沙(東京農工大学院)「バイオセンサ構築に向けた病原性細菌結合アプタマーの開発」
- 3) 佐々木寛人(名古屋大学)「幹細胞治療における細胞品質の形態情報モデリング技術開発および生産プロセスの設計」

- 4) 仲嶋 翼 (大阪大学)「代謝工学的手法を用いた微細藻類の戦略的育種」
- 5) 小寺 星 (広島大学)「青枯病菌に感染するT7型ファージゲノムのダイナミックな再編成」

## 1. 5 その他

- (1) 第8回日本バイオベンチャー大賞(主催: 日本工業新聞社)を協賛した。

## 2. 総会、代議員会、理事会等の開催

### 2. 1 総会

- (1) 通常総会(2012年5月25日 千里ライフサイエンスセンタービル)
  - 1) 2011年度事業、収支決算および監査報告を承認
  - 2) 顧問・名誉会員・功労会員への推戴を承認
  - 3) 2012年度事業計画および収支予算案を報告
  - 4) 創立90周年記念事業について報告
- (2) 2012年度代議員会(2012年10月23日 第64回日本生物工学大会E会場(501))
  - 1) 2012(平成24)年度事業および会計の中間報告
  - 2) 次期役員候補者選考、次期代議員選挙について
  - 3) その他

### 2. 2 理事会

- (1) 第1回理事会(2012年4月24日 千里ライフサイエンスセンタービル)
  - 1) 2011年度事業・決算および監査報告ならびに2012年度事業計画・予算を承認し、総会に諮ることを決定
  - 2) 創設90周年記念事業進捗状況の報告
  - 3) 2011年度研究部会活動報告を承認
  - 4) 2012年度研究部会申請案件15件を審議し、第1種1件、第2種13件、若手会1件の採択を決定
  - 5) 日本学術振興会育志賞の推薦について協議
  - 6) 国立情報学研究所(CiNii)における和文誌および大会講演要旨集公開条件について協議
  - 8) 2012年度の理事会運営(若手の陪席、開催日、検討課題等)について協議
  - 9) 授賞候補者推薦結果の報告
  - 10) その他(国際展開会長諮問委員会、生物科学学会連合、大阪大学総合博物館行事の共催、フジサンケイビジネスアイでの創立90周年記念関係の特集等)
- (2) 第2回理事会(2012年6月8日 札幌阪急ホテルパーク)
  - 1) 第31回生物工学賞受賞者を決定
  - 2) 第6回生物工学功績賞受賞者を決定
  - 3) 第6回生物工学功労賞受賞者を決定
  - 4) 第45回生物工学奨励賞(江田賞)受賞者を決定
  - 5) 第48回生物工学奨励賞(斎藤賞)受賞者を決定
  - 6) 第35回生物工学奨励賞(照井賞)受賞者を決定
  - 7) 第21回生物工学技術賞受賞者を決定
  - 8) 第9回生物工学アジア若手賞受賞者を決定
  - 9) 第20回生物工学論文賞受賞者を決定
  - 10) 第1回生物工学アジア若手研究奨励賞受賞者を決定
  - 11) 第1回生物工学学生優秀賞受賞者を決定
  - 12) 授賞選考委員会運営改善について協議
  - 13) KSBB大会への派遣候補者を決定
  - 14) 科研費不採択支部事業への本部支援(案)を承認
  - 15) 創立90周年記念大会国際シンポジウム講演集の電子媒体の公開先について協議
  - 16) その他(JABEE審査講習会、国際展開会長諮問委員会、本部事業・支部事業の整理、英文誌編集委員会委員の負増大等)

- (3) 第3回理事会(2012年8月31日 サントリー研究センター会議室)

- 1) 創立90周年記念事業の進捗状況の報告
- 2) 生物工学会各賞授賞内規・覚書・調書等の問題と対応について協議
- 3) 内部監査による指摘事項に対する対応について協議し、予算案策定時における監事の意見聴取および懇親会費のガイドラインを決定
- 4) 学会の人事規程等について協議
- 5) 次期役員候補者等選考に関する基本方針を承認
- 6) 若手理事会陪席者の役割を審議・決定
- 7) 理事会における今後の検討課題等について協議
- 8) 日本生物工学会シンポジウム実施(案)を審議し、基本方針を承認
- 9) 産学連携委員会の活動および今後の予定の報告
- 10) 国際展開会長諮問委員会の中間答申報告
- 11) 海外功労者追加(案)を承認
- 12) 大会時の本部関係会議日程の報告

- (4) 第4回理事会(2012年10月24日 第64回日本生物工学会大会会議室1(404))

- 1) 授賞選考委員会選考後に提起された問題点(各賞の授賞内規・覚書・調書の記入方法等)への対応(案)を審議・承認
- 2) 学会の人事規程(案)等を審議・承認
- 3) CiNiiにおける大会講演要旨集等の公開条件について協議・決定
- 4) その他(DaSilva先生のご遺族への感謝状贈呈、生物科学学会連合への不参加、来年度大会の収支予想、時事トピックスへの対応等)

- (5) 第5回理事会(2013年1月25日 キッコーマン野田工場 講堂)

- 1) 2013(平成25)年度の事務局の体制について報告
- 2) 事務局職員の面談結果を報告
- 3) 事務局職員の定年年齢を65歳に引き上げることを決定
- 4) 2012年度事業報告・決算見込(案)および2013年度事業計画・予算(案)の審議・承認
- 5) 2013(H25)度の総会および関連行事(案)の承認
- 6) 支部活動報告(2012年度実績見込・2013年度計画)の審議・承認
- 7) 2013(平成25)年度大会実施概要の報告・審議
- 8) 2014(平成26)年度大会実施概要の報告・審議
- 9) SBJシンポジウム企画特別部会の今後の運営について協議
- 10) 第1回生物工学基礎教育セミナー開催の報告
- 11) YABEC2012からの分配金について受入を承認
- 12) 理事会における今後の検討課題の取扱について協議
- 13) 会長諮問委員会(国際展開)からの答申への対応(国際展開戦略特別部会の設置など)について審議・承認
- 14) 各賞授賞内規・覚書・調書等の問題と対応について確認
- 15) その他(創立90周年記念事業関連報告、理事補佐の業務報告予定)

### 2. 3 2012年度受賞候補者選考委員会

(2012年6月8日 札幌阪急ホテルパーク)

- (1) 生物工学賞受賞候補者選考委員会 第31回 生物工学賞候補者を選出
- (2) 生物工学功績賞受賞候補者選考委員会 第6回 生物工学功績賞候補者を選出
- (3) 生物工学功労賞受賞候補者選考委員会 第6回 生物工学功労賞候補者を選出

- (4) 生物学奨励賞(江田賞)受賞候補者選考委員会  
第45回 生物学奨励賞(江田賞)候補者を選出
- (5) 生物学奨励賞(斉藤賞)受賞候補者選考委員会  
第48回 生物学奨励賞(斎藤賞)候補者を選出
- (6) 生物学奨励賞(照井賞)受賞候補者選考委員会  
第35回 生物学奨励賞(照井賞)候補者を選出
- (7) 生物学技術賞受賞候補者選考委員会  
第21回 生物学賞技術賞候補者を選出
- (8) 生物学アジア若手賞受賞候補者選考委員会  
第9回 生物学アジア若手賞候補者を選出
- (9) 生物学論文賞受賞候補者選考委員会  
第20回 生物学賞論文賞候補者を選出
- (10) 生物学アジア若手研究奨励賞受賞候補者選考委員会  
第1回 生物学アジア若手研究奨励賞候補者を選出
- (11) 生物学学生優秀賞受賞候補者選考委員会  
第1回 生物学学生優秀賞候補者を選出

## 2. 4 アドバイザー会議

《 2012年度は開催なし 》

## 2. 5 編集委員会

### 2. 5. 1 和文誌編集委員会

- (1) 第1回和文誌編集委員会(2012年6月15日 関西学院大学梅田キャンパス1403教室)
  - 1) 編集状況の報告・確認
  - 2) 編集委員の個別担当の確認
  - 3) 2013年度バイオメディア委員候補者の選出
  - 4) 2013年度特集企画案に関する協議
  - 5) 創立90周年記念事業に関する特集および出版の進捗状況の報告と確認
  - 6) 論文賞和文誌枠における選考基準に関する協議
  - 7) FujiSankei Business i との連携における新企画掲載記事に関する協議
- (2) 第2回和文誌編集委員会(2012年10月25日 第64回日本生物工学会大会会議室2(405))
  - 1) 編集状況の報告・確認
  - 2) 2013年度編集計画案の確認と進捗状況
  - 3) 創立90周年記念事業関連
    - ① 記念出版「生物学基礎講座 バイオよもやま話」の編集進捗確認と対応
    - ② 記念座談会の内容と編集計画の確認
- (3) 第3回和文誌編集委員会(2013年1月11日 関西学院大学梅田キャンパス1403教室)
  - 1) 編集状況の報告・確認
  - 2) 創立90周年記念事業記念出版の進捗確認
    - ・ 題名: 「生物学よもやま話」-実験基本原理から応用まで-
    - ・ 2013年6月出版に向けての課題抽出と対応
  - 3) FujiSankei Business i 「バイオ最前線」の今後について協議
  - 4) 執筆謝礼について協議
  - 5) 今後の編集体制の考え方を協議

### 2. 5. 2 英文誌編集委員会

- (1) JBBの2011年のImpact Factorは1.793(2010年は1.707)。
- (2) SPARC Japan(国際学術情報流通基盤整備事業)ジャーナルプロモーション活動に参画
  - 1) American Chemical Society (ACS) 2012年秋季大会に出展(012年8月19日~21日)
  - 2) 4th EuCheMS Chemistry Congress (第4回ヨーロッパ)

- ッパ化学会議)に出展(2012年8月26日~30日)
- (3) 第1回英文誌編集委員会((2012年10月25日 第64回日本生物工学会大会会議室3(406))
  - 1) 報告事項
    - ① 2012年度上半期編集状況  
→2012年通年は昨年並みと予想
    - ② Review依頼状況  
→研究部会への依頼によりIF上昇を狙う
  - 2) Noteの位置づけについて討議
  - 3) 却下および取り下げの決定時期について討議
  - 4) 学術論文以外のReference要件(特許、政府刊行物等)について討議
  - 5) Response surface methodology論文の増加について討議
  - 6) Aims and scopeの見直しについて討議
  - 7) ElsevierからのSponsored Access導入提案について討議
  - 8) Corresponding authorの二人制について討議

## 2. 6 企画委員会

- (1) 科研費不採択支部事業への本部支援について、申請案件の一次審査結果を理事会に提案
- (2) 「若手の理事会陪席」の具体的な運営および陪席者(理事補佐)の業務内容を策定し、行った業務について理事会に提言として報告
- (3) 第17回生物学懇話会を企画

## 2. 7 産学連携委員会

- (1) 2012年度大会の本部企画シンポジウムとして3テーマを設定・実施
- (2) 2013年度大会の本部企画シンポジウムとして3テーマを企画中
- (3) 2012年度大会附設展示会出展企業との交流会を企画
- (4) 「第1回生物学 産学技術研究会」を開催(2012年7月13日 参加者: 約130名)
- (5) 「第2回生物学 産学技術研究会」を開催(2013年3月8日 参加者: 約100名)
- (6) 「第1回生物学 基礎教育セミナー」を開催(2012年12月10-11日 参加者: 約30名)し、第2回以降の予定と講師リストを整備
- (7) 産業界からの大学非常勤講師の斡旋および講師リストを整備

## 2. 8 生物学教育委員会

- (1) 創立90周年記念事業として「バイオテクノロジー入門書」を企画・編集し、出版した。
- (2) 『ひらく、ひらく「バイオの世界」』イラスト・写真館を企画・編集し、学会HPに掲載した。
- (3) 産学連携委員会と連携し「第1回生物学 基礎教育セミナー」を企画・実施した(2012年12月10日)。
- (4) 第1回生物学教育委員会(2012年10月26日 第64回日本生物工学会大会会議室1(404))
  - 1) 学会創立90周年記念出版事業について報告
  - 2) 産学連携委員会との共催による「生物学 基礎教育セミナー」の開催について報告
  - 3) 生物学学生優秀賞(飛翔賞)の表彰について報告
  - 4) 育志賞の学会推薦について報告

## 2. 9 JABEE特別部会

- (1) これまでの認定校  
崇城大学、徳島大学、九州工業大学、(鳥取大学)、東北大学、沖縄工業高等専門学校
- (2) 本年度審査関係
  - 1) 2012年度の受審申請1件の審査チームを編成

- 2) 「生物学および生物学関連分野」委員会を編成
- 3) 「生物学および生物学関連分野」分野別委員会を開催(2013年2月9日)
- (3) 啓発活動関係
- 1) (財)農学会主催の審査員研修会(2012年7月28日)に講師派遣、および共催として協力
- 2) JABEE認定審査講習会を開催(2012年8月9日 受講者: 28名 講師: 8名)
- (4) JABEE各種委員会(理事会、認定会議、大学院委員会、認定・審査調整委員会、基準総合調整委員会、審査事務連絡会、拡大運営会議)への出席
- (5) 第1回JABEE特別部会(2012年10月25日 第64回日本生物工学会大会会議室(304))
- 1) JABEE新基準の内容と過去の基準との変更点確認
- 2) JABEE審査講習会報告
- 3) 生物学関連分野認定校増加のためのアクションについて協議
- 4) JABEEおよび高等教育の課題と今後の学会としての対応について協議

## 2. 10 国際展開会長諮問委員会

- (1) Asian Federation of Biotechnology (AFOB) が結成されるなかで、東南アジア諸国と友好的な連携を展開しながら、アジアでリーダーシップを発揮する「アジア戦略」について検討することを目的として設置
- (2) 3回の委員会を開催して、日本生物工学会の活動における国際展開について情報を収集し、集中的に議論
- 1) 第1回委員会(2012年4月12日)  
会長諮問の趣旨を確認し、委員会の進め方を定め、課題について討論
- 2) 第2回委員会(2012年6月1日)  
「アジア戦略」とロードマップ中の企画・イベントについて検討
- 3) 第3回委員会(2012年7月30日)  
答申のたたき台を用いて、追加事項の提案とまとめ方の検討
- (3) 下記4項目について提言を整理
- 1) これまでの「アジア戦略」でカバーされていない新たな提案される戦略は何か
- 2) ロードマップの中で含まれるべき重要な企画やイベントは何か
- 3) 100周年にむけてさらに戦略的なこととして何をすべきか
- 4) アジアで日本生物工学会がリーダーシップをとるために必要なことは何か
- (4) さらに、100周年記念事業に向けてこれから10年間の具体的なロードマップを策定
- (5) 理事会(2012年8月31日開催)に中間答申報告
- (6) 会長に最終報告書を提出(2012年10月15日)
- (7) 会誌(2013年3号)に最終報告書の骨子を掲載・公表

## 3. 会員の異動状況

2013年3月末までに、別表(3)に示す会員状況の変動があった。

別表(3) 会員状況の変動

	2012年4月1日	2013年3月31日	増減
正会員	2292	2302	+ 10
学生会員	648	665	+ 17
団体会員	143	137	- 6
賛助会員	113 (188口)	111 (184口)	- 2 (- 4口)
合計	3196	3215	+ 19

## 《参考1》

	2011年4月1日	2012年3月31日	増減
正会員	2337	2292	- 45
学生会員	609	648	+ 39
団体会員	149	143	- 6
賛助会員	118 (192口)	113 (188口)	- 5 (- 4口)
合計	3213	3196	- 17

## 《参考2》

	2010年4月1日	2011年3月31日	増減
正会員	2334	2337	+ 3
学生会員	532	609	+ 77
団体会員	154	149	- 5
賛助会員	121 (195口)	118 (192口)	- 3 (- 3口)
合計	3141	3213	+ 72

## 4. その他主な特記

- (1) 会員、賛助企業・団体および業界団体から醸金を募り、下記の創立90周年記念事業をおこなった。
- 1) 記念式典 2) 特別記念講演 3) 記念祝賀会  
4) 記念大会 5) 国際シンポジウム  
6) 地域連携シンポジウム 7) 特別展示会  
8) 記念出版(一部)
- (2) 広報関係
- 1) 2012年度大会のプレス発表を実施した(2012年10月11日大阪大学吹田キャンパス)。
- 2) 各種広報メディアを整備した。
- A) 学会のPR用媒体の作成
- ①パンフレット(日本語、英語、中国語、韓国語)  
②パワーポイントファイル(日本語、英語)
- B) 創立90周年記念大会のポスター(日本語)作成
- C) 創立90周年記念大会のHP(日本語/英語)を立ち上げ、適宜更新
- D) 創立90周年記念シールの作成 ⇒パンフレット・配布物などに利用
- (3) 国際交流関係
- 1) KSBBとの学術交流協定に基づく相互連携を推進した。
- A) 本年度の第64回大会にKSBBから3名を講演招待  
B) KSBB2012年大会(9月20日)に4名(団長: 原島会長)を派遣  
C) KSBBとの今後の学術交流について意見交換(10月25日)
- 2) 特別部会の創設・運営による「SBJシンポジウム」構想の提案

別表(1) 学術講演会およびシンポジウムなどの開催

主催	名称	サブタイトル	期 日	開 催 場 所	
本 部	第17回生物工学懇話会		2012. 5. 25	千里ライフサイエンスセンタービル	
	第1回 生物工学 産学技術研究会		2012. 7. 13	サントリー研修センター「夢たまご」	
	2012年度大会 プレス発表会		2012. 10. 11	大阪大学	
	創立90周年記念 第64回日本生物工学会大会		2012. 10. 23~2012. 10. 26	神戸国際会議場	
	International Symposium on Biotechnology for Green Growth		2012. 10. 24~2012. 10. 26	神戸国際会議場	
	第1回 地域連携シンポジウム	持続可能なまちづくりを目指すバイオマスタウン構想	2012. 10. 24	神戸国際会議場	
	第1回生物工学基礎教育セミナー		2012. 12. 10~2012. 12. 11	サントリー研修センター「夢たまご」	
	第2回 生物工学 産学技術研究会		2013. 3. 8	サントリー山崎蒸留所	
支 部	北日本支部	札幌シンポジウム	2012. 9. 28	北海道大学百年記念会館	
	東日本支部	第7回学生発表討論会	「研究室から飛び出よう！」自分の研究をネタに、企業の研究者とじっくり話してみませんか？	2012. 11. 9	八王子セミナーハウス
		2012年度生物工学フォーラム	細胞工学に資する培養界面の制御技術	2012. 12. 4	早稲田大学西早稲田キャンパス
		高校生対象実験体験セミナー		2012. 12. 22	横浜国立大学理工学部
		賀詞交換会		2013. 1. 25	キッコーマン株式会社野田工場
	中部支部	2012年度日本生物工学会中部支部例会		2012. 8. 2	名古屋大学
		第1回CHUBU懇話会		2012. 6. 22	太陽化学
		ミニシンポジウム	バイオマス研究の最前線	2012. 8. 3	金沢大学
	関西支部	第101回醗酵学懇話会		2012. 8. 31	サントリー京都ビール工場
		第102回醗酵学懇話会		2013. 2. 8	月桂冠株式会社昭和蔵工場
	西日本支部	創立30周年記念シンポジウム・講演会・祝賀会		2012. 7. 7	岡山大学津島キャンパス
	九州支部	日本生物工学会九州支部市民フォーラム	伝統から未来につながる発酵学	2012. 9. 1	アバンセ
		第19回日本生物工学会九州支部大分大会		2012. 12. 1	別府大学
	研究部会	メタボロミクス研究部会	2012メタボロミクス講習会	2012. 11. 2~2012. 11. 3	大阪大学
		代謝工学研究部会	第2回代謝工学研究部会シンポジウム	2012. 11. 29	大阪大学
学際的脂質創生研究部会		2012年度 第3回学際的脂質創生研究部会講演会	2013. 1. 25	京都大学	
生物工学若手研究者の集い		夏のセミナー2012		2012. 6. 30~2012. 7. 1	モンタナリゾート岩沼
		生物工学若手研究者の集い総会・交流会		2012. 10. 25	神戸国際会議場

別表(2) 関連学協会との連携および協力(その1)

種類	主催	名称	サブタイトル	期日	開催場所
共催 (4)	日本科学技術協会, 東京大学生物生産工学研究センター	日中バイオテクノロジー国際シンポジウム2012	バイオテクノロジーと農業・環境	2012. 5. 13~2012. 5. 14	東京大学弥生講堂
	酵素工学会	第12回日中韓酵素工学会議 The 12 <sup>th</sup> Japan-China-Korea Joint Symposium on Enzyme Engineering		2012. 5. 28~2012. 5. 31	金沢エクセルホテル東急
	日本糖質学会	第31回日本糖質学会年会		2012. 9. 17~2012. 9. 20	鹿児島市民文化ホール
	YABEC2012実行委員会	第18回生物化学工学アジア若手研究者の集い (YABEC2012)		2012. 10. 26~2012. 10. 28	徳島大学
協賛 (53)	バイオインダストリー協会	“未来へのバイオ技術”勉強会	醸造用酵母の育種と比較ゲノム一次世代シーケンサーとオミクス解析が拓く新時代	2012. 5. 21	バイオインダストリー協会
	近畿化学協会	近化資源セミナー 化学企業の挑戦! バイオマテリアルビジネスの新展開	バイオマスからの化成品の創製	2012. 5. 23	大阪科学技術センター
	食品ハイドロコロイド研究会	食品ハイドロコロイドセミナー2012および第23回食品ハイドロコロイドシンポジウム	~初心者のためのハイドロコロイド研究法の解説~	2012. 5. 24~2012. 5. 25	日本教育会館
	バイオインダストリー協会	先端技術情報セミナー	バイオマス利活用技術はここまで来ている! 今こそ実用化に向けた取り組みを	2012. 5. 30	バイオインダストリー協会
	低温生物工学会	第57回低温生物工学会(国際セミナー/年会)		2012. 5. 31	つくば国際会議場
	日本ゾーゲル学会	日本ゾーゲル学会第9回セミナー	光テクノロジーに向けた新材料開発	2012. 6. 1	日本大学駿河台キャンパス
	バイオインダストリー協会	新資源生物変換研究会シンポジウム	新しい資源の創出に向かつて一合成生物学の隆起	2012. 6. 15	神戸大学百年記念館
	近畿化学協会コンピュータ化学部会	近畿化学協会コンピュータ化学部会公開講演会(第84回例会)	量子計算科学の高速化	2012. 6. 20	大阪産業創造館
	産業技術総合研究所 中部センター	2012年産業技術総合研究所中部センター研究発表会		2012. 6. 26~2012. 6. 27	産業技術総合研究所 中部センター
	日本真空学会 関西支部, 日本表面科学会 関西支部, 神戸大学研究基盤センター	日本真空学会関西支部&日本表面科学会関西支部合同セミナー2012	生物に学ぶさまざまな機能—環境に調和した自然界の知恵—	2012. 7. 6	神戸大学百年記念館
	大阪工研協会	大阪工研協会 バイオ実習セミナー	—微生物・細胞取扱いの基本操作と検査・試験への応用—	2012. 7. 6, 2012. 7. 9	大阪市立工業研究所
	日本キチン・キトサン学会	第26回キチン・キトサンシンポジウム		2012. 7. 12~2012. 7. 13	北海道大学学术交流会館
	日本イオン交換学会	第25回イオン交換セミナー	挑戦するイオン交換	2012. 7. 13	産業技術総合研究所
	マリンバイオテクノロジー学会	The 9 <sup>th</sup> Asia-Pacific Marine Biotechnology Conference		2012. 7. 13~2012. 7. 16	高知市文化プラザ かるぼーと

別表(2) 関連学協会との連携および協力(その2)

種類	主催	名称	サブタイトル	期日	開催場所
	腐食防食協会	微生物腐食シンポジウム	基礎から応用まで	2012. 7. 27	東京工業大学すずかけ台キャンパス
	バイオインダストリー協会	“未来へのバイオ技術” 勉強会	微生物コミュニケーション- 解明と応用	2012. 8. 7	バイオインダストリー協会
	日本熱測定学会	The 15th International Congress on Thermal Analysis and Calorimetry/ 第48回熱測定討論会		ICTAC15 : 2012. 8. 20~2012. 8. 24 JCCTA48 : 2012. 8. 22~2012. 8. 24	近畿大学本部キャンパス
	におい・かおり環境協会	第25回におい・かおり環境学会		2012. 8. 23~2012. 8. 24	立命館大学 びわこ・くさつキャンパス
	日本熱測定学会	第69回熱測定講習会	初心者のための熱分析の基礎と応用	2012. 8. 30~2012. 8. 31	京都府立大学
	日本感性工学会	第14回日本感性工学会大会・総会	心に響く価値づくり	2012. 8. 30~2012. 9. 1	東京電気大学 東京千住キャンパス
	バイオインダストリー協会	JBA発酵と代謝研究会シンポジウム	乳酸菌研究の新たな道標- 基盤研究, 食, 健康, ものづくり	2012. 9. 12	東京大学
	国際質量分析会	第19回国際質量分析会議		2012. 9. 15~2012. 9. 21	国立京都国際会館
	バイオインダストリー協会	“未来へのバイオ技術” 勉強会	イスラム市場の魅力に挑戦する! ~ハラール(Halal)マーケット進出をめざして	2012. 9. 26	バイオインダストリー協会
	日本食品機械研究会	第10回高付加価値食品開発のためのフォーラム		2012. 9. 26~2012. 9. 27	富士教育研究所
	京都大学産学連携本部, バイオインダストリー協会	第5回 京都大学発・新技術セミナー	明日から, マイクロリアクターを使ってみる	2012. 9. 28	京都大学東京オフィス
	日本イオン交換学会	第28回日本イオン交換研究発表会		2012. 10. 18~2012. 10. 19	東京工業大学岡山キャンパス
	高分子学会・エコマテリアル研究会	エコマテリアル研究会	バイオマス資源からの高度物質生産技術の開発動向	2012. 10. 19	東京大学弥生講堂 アネックス
	バイオインダストリー協会	“未来へのバイオ技術” 勉強会	やわらかいデバイス	2012. 10. 22	バイオインダストリー協会
	生物関連高圧研究会	7 <sup>th</sup> International Conference on High Pressure Bioscience and Biotechnology (HPBB2012)		2012. 10. 29~2012. 11. 2	ピアザ淡海
	日本吸着学会	第26回日本吸着学会研究発表会		2012. 11. 14~2012. 11. 15	産業技術総合研究所 つくばセンター中央
	化学工学会, 日本能率協会	グリーン・イノベーションEX P02012		2012. 11. 14~2012. 11. 16	東京ビッグサイト
	日本知能情報ファジィ学会	The 6 <sup>th</sup> International Conference on Soft Computing and Intelligent Systems and the 13th International Symposium on Advanced Intelligent Systems		2012. 11. 20~2012. 11. 24	神戸国際会議場
	シングルセルサーベイヤー研究会	International Joint Symposium on Single-Cell Analysis	The 6th International Workshop on Approaches to Single-Cell Analysis & The 8th International Forum on Post-Genome Technologies	2012. 11. 27~2012. 11. 28	京都リサーチパーク

別表(2) 関連学協会との連携および協力 (その3)

種類	主催	名称	サブタイトル	期 日	開催場所
	日本膜学会, 日本能率協会	第29回ニューメンブレメンテ クノロジーシンポジウム2012		2012. 11. 27~2012. 11. 30	三田NNホール
	炭素材料学会	第38回炭素材料学会年会		2012. 11. 28~2012. 11. 30	長野市生涯学習セ ンター
	公益社団法人 日本技術士会 ・生物工学部 会	12月例会・冬の例会	微生物資源利用	2012. 12. 1	葦手第二ビル
	水素エネルギ ー協会	第32回水素エネルギー協会大 会		2012. 12. 6~2012. 12. 7	広島市西区民文化 センター
	日本技術者教 育認定機構(JA BEE), 公益社 団法人日本工 学教育協会	国際的に通用する技術者教育 ワークショップシリーズ 第1 回	学習・教育到達目標設定法 とその達成度評価法	2012. 12. 8	芝浦工業大学 豊洲 校舎
	バイオインダ ストリー協会	JBA“未来へのバイオ技術” 勉強会 月例会	保湿の極意とエビデンス	2012. 12. 13	バイオインダスト リー協会
	東京大学大学 院農学生命科 学研究科, 名 古屋大学大学 院生命農学研 究科	生研センター・イノベーション 創出基礎的研究推進事業	ナノバイオテクノロジーに 基づくDDS技術による新世 代ワクチン技術シンポジウ ム	2012. 12. 18	東京大学弥生講堂
	日本機械学会	第25回バイオエンジニアリン グ講演会		2013. 1. 9~2013. 1. 11	産業技術総合研究 所つくばセンター
	高専シポジ ウム協議会, 仙台高等専門 学校	第18回高専シンポジウム in 仙台		2013. 1. 26	仙台高等専門学校 名取キャンパス
	大阪大学フロ ンティア産業 バイオグルー プ	第7回大阪大学フロンティア 産業バイオシンポジウム	機能性食品・飲料研究開発 の新展開	2013. 2. 2	千里ライフサイエ ンスセンタービル
	化学工学会関 西支部	講演会&見学会	医薬品製造に関わるGMPの 最新動向	2013. 2. 7~2013. 2. 8	大阪科学技術セン ター
	JBAアルコール ・バイオマス 研究会	JBAアルコール・バイオマス研 究会講演会	日本の糖化酵素は世界に負 けていない	2013. 2. 8	東京大学弥生キャン パス
	産業技術総合 研究所	産総研 環境・エネルギーシ ンポジウムシリーズ	21世紀の化学反応とプロセ スー未来を切り拓く革新触 媒ー	2013. 2. 19	つくば国際会議場 中ホール300
	JBAバイオエン 지니어リング 研究会	JBAバイオエンジニアリング 研究会講演会	地域に根ざしたバイオマス 利用技術の実用化ーLCAの 視点で近未来の実用化を展 望する	2013. 2. 20	東京大学本郷キャン パス
	JBA発酵と代謝 研究会	JBA発酵と代謝研究会講演会	美味しい健康生活は微生物 が作る~作物生産、食品素 材開発、健康支援~	2013. 2. 22	京都大学益川ホー ル懇
	バイオインダ ストリー協会	“未来へのバイオ技術”勉強 会	バイオ素材百花繚乱2	2013. 2. 27	バイオインダスト リー協会
	日本熱測定学 会	第70回熱測定講習会	初心者のための熱分析の基 礎と高分子・医薬品への応 用ー専門家による講義と 実習・個別相談、最新熱分 析装置の紹介ー	2013. 2. 27~2013. 2. 28	早稲田大学理工キ ャンパス



別表(2) 関連学協会との連携および協力 (その4)

種類	主催	名称	サブタイトル	期 日	開催場所
	独立行政法人 理化学研究所	第8回理研「バイオものづく り」シンポジウム		2013. 3. 8	(独) 理化学研究 所・和光キャン パス
	バイオインダ ストリー協会, 福井大学産学 官本部, 福井 大学URAオフィ ス	大学発・選り抜きバイオセミ ナー 第20回	細胞幾何学～細胞の形態制 御による組織構築へのアプ ローチ	2013. 3. 15	バイオインダスト リー協会
	化学工学会	化学工学会関西支部シンポジ ウム	関西発, 技術イノベーション !～最先端医療産業の展 開～	2013. 3. 19	大阪大学豊中キャン パス
後援 (14)	日本-フィンラ ンド・バイオ テクノロジー シンポジウム2 012 組織委員 会	日本 - フィンランド・バイ オテクノロジーシンポジウム		2012. 6. 4～2012. 6. 8	東北学院大学押川 記念ホール
	新化学技術推 進協会	JACI/GSCシンポジウム (第12 回GSCシンポジウム)	新化学技術が拓く豊かな未 来社会	2012. 6. 12～2012. 6. 13	ベルサール神田
	日本プロテオ ーム学会	日本プロテオーム学会2012年 会 (10thJHUP0)		2012. 7. 26～2012. 7. 27	日本科学未来館
	日本分析機器 工業会, 日本 科学機器協会	JASIS2012 (Japan Analytical & Scientific Instruments Show)		2012. 9. 5～2012. 9. 7	幕張メッセ国際展 示場
	四川大学 建 築と環境学院, 日本生物工学 会バイオマス 循環利用研究 部会	日本・中国バイオマスシンポ ジウム	バイオマスリファイナリー と資源循環型社会の構築の ためのバイオテクノロジー	2012. 9. 27～2012. 9. 28	四川大学科華苑ホ テル
	BioJapan組織 委員会, (株)ICS コンベンショ ンデザイン	BioJapan 2012 -World Business Forum-	アジア発オープンイノベー ション新時代	2012. 10. 10～2012. 10. 12	パシフィコ横浜
	北海道バイオ 産業振興協会 (HOBIA)	バイオテクイラストコンテス トおよび2013カレンダー作成	遺伝子組換え作物を知って もらうために	2012. 10. 13	北海道大学学術交 流会館
		GM国際シンポジウム	GM利用の現状と今後の重要 性		
	神奈川科学技 術アカデミー	第6回KASTシステムバイオテ クノロジー講座	生命のシステム 探索のた めの手引き	2012. 11. 2	かながわサイエン スパーク
	神奈川科学技 術アカデミー	第6回KASTシステムバイオロ ジー講座 (分野編)	システムバイオテクノロジ ーの新展開	2013. 1. 16, 201. 1. 18	かながわサイエン スパーク
	日本工業新聞 社 (フジサン ケイビジネス アイ)	第8回バイオベンチャー大賞 (贈賞式)		2013. 2. 7	神戸大学
	岡山大学	第6回高度医療都市を創出す る未来技術国際シンポジウム	創薬開発システム構築のた めの戦略	2013. 2. 7～2013. 2. 8	岡山大学津島キャン パス
	日本学術振興 会	日独共同大学院プログラムシ ンポジウム	グリーン成長のためのバイ オテクノロジー及びケミス トリー 『Biotechnology and Chemistry for Green Growth』	2013. 3. 11～2013. 3. 13	千里ライフサイエ ンスセンター

(付表1) 生物工学会誌編集状況

2013 (H25) 年3月31日現在

I. 年別投稿・掲載・頁数

年 別	投稿数 (特集など含む)	掲載数 (特集など含む)	頁数 <sup>b</sup>	却下・取下・合併
2005 (H17) 1-12	32	36	652	1
2006 (H18) 1-12	39	31	580	2
2007 (H19) 1-12	34	36	630	0
2008 (H20) 1-12	69 <sup>a</sup>	66 <sup>a</sup>	700	3
2009 (H21) 1-12	32	28	688	2
2010 (H22) 1-12	25	27	768	2
2011 (H23) 1-12	29	25	838	0
2012 (H24) 1-12	26	25	916	0
2013 (H25) 1- 3	4	6	192	2

a「キャリアパス」などを含む

b大会プログラム別冊頁数を含む

II. 投稿数と掲載数 (2012. 4~2013. 3)

年 月	投 稿 数 (特集・連載含む)				掲 載 数 (特集・連載含む)					却 下 取 下 げ 合 併
	報文	ノト	特 集 その他	計	報文	ノト	特 集 その他	計	頁 数	
2012. 4	1		3	4			1	1	68	
5	1		1	2			1	1	54	
6			3	3			1	1	94	
7			1	1	1		2	3	90	
8			1	1			2	2	81+90*	
9			1	1			2	2	72	
10			1	1			1	1	58	
11			4	4	2		1	3	88	
12		1	1	2			1	1	63	
2013. 1				0			2	2	48	
2			1	1			3	3	76	
3	1		2	3			1	1	68	
合 計	3	1	19	23	3	0	18	21	950*	0

\*大会プログラム別冊頁数を含む

III. 特集・受賞論文・バイオメディア・連載など (2012. 4~2013. 3)

年 月	巻頭言 談話室	特 集 受 賞	バイオ よもやま話	バイオ メディア	Branch Spirit	Germi- nation	本部 だより	支部 だより	プロ・ バイオ	美しい バイオ	FSBi	その他
2012. 4	巻/談2	特1	2	4	1	1	1		1		1	
5	巻/談2	特1	2	6	1	1		1		1	1	女性2
6	巻/談	特2	2	5	1	1					1	研究部会報告
7	巻/談2	特1	2	6	1	1	1	1	1	1	1	研究部会募集
8	巻/談	特1	2	4	1	1		1		1	1	女性2/生物材料
9	巻/談	特2	2	5	1	1	2	1	2		1	生物材料
10	巻/談	特1	2	5	1	1		2			1	生物材料
11	巻/談	特1	2	6	1	2	1	1	1		1	
12	巻/談	特1	2	5	1	1	4	1	1		1	生物材料
2013. 1	巻/談	受1	2	6	1	1	1				1	生物材料
2	巻/談	受1	2	5	1	1	1	1			1	生物材料
3	巻/談2	受1	3	6	1	1	2	1			1	解説
計	巻12/談8	特11/受6	25	63	12	13	13	10	6	3	12	

プロ・バイオ=プロジェクト・バイオ

## (付表2) Journal of Bioscience and Bioengineering 編集状況

2013 (H25) 年3月31日現在

## I. 原稿受付状況

年 別	投 稿 数	掲 載 数	頁 数	却下・取下げ 合 併	手持ち原稿
2005 (H17) 1-12	319 ( 94)	210 (35)	1,343	109	94
2006 (H18) 1-12	312 (105)	180 (36)	1,103	118	108
2007 (H19) 1-12	406 (207)	186 (48)	1,113	189	139
2008 (H20) 1-12	481 (238)	217 (57)	1,307	221	182
2009 (H21) 1-12	484 (260)	220 (69)	1,219	242	200
2010 (H22) 1-12	535 (327)	235 (80)	1,370	311	189
2011 (H23) 1-12	746 (524)	245 (96)	1,371	472	218
2012 (H24) 1-12	753 (509)	257 (84)	1,463	478	236
2013 (H25) 1- 3	177 (116)	61 (22)	345	104	248

( )=海外数

## II. 投稿数と掲載数 (2012.4~2013.3)

年 月	投 稿 数				掲 載 数					却 下 取 下 げ 合 併	手 持 原 稿	掲 載 予 定
	報 文	ノ ー ト	総 説 そ の 他	計	報 文	ノ ー ト	総 説 そ の 他	計	頁 数			
2012. 4	60	9	0	69	17	6	0	23	128	43	219	22
5	48	8	0	56	17	5	0	22	126	35	218	21
6	39	5	2	46	16	5	0	21	118	29	214	21
7	61	14	3	78	15	5	1	21	119	38	233	21
8	42	8	3	53	16	4	1	21	119	40	225	20
9	61	10	3	74	18	1	1	20	122	45	234	21
10	49	7	0	56	15	5	1	21	114	39	230	19
11	73	3	2	78	15	4	0	19	97	42	247	19
12	46	4	0	50	11	7	1	19	103	42	236	23
2013. 1	44	6	2	52	14	9	0	23	114	36	229	20
2	47	5	1	53	13	5	2	20	118	32	230	18
3	62	8	2	72	16	1	1	18	113	36	248	21
合 計	632	87	18	<sup>a</sup> 737	183	57	8	<sup>b</sup> 248	1391	457		

<sup>a</sup>海外投稿数 492<sup>b</sup>海外掲載数 73 を含む